

ICT 導入協議会（第19回）

議事概要

1. 開催日時：令和6年9月30日（月） 14：00～16：00
2. 場 所：WEB 会議
3. 議 事：
 - (1) ICT 施工に関する状況報告 資料―1
 - (2) ICT 施工の技術基準類拡大に関する報告 資料―2
 - (3) ICT 施工及び遠隔施工におけるロードマップ案について 資料―3
 - (4) その他 資料―4
 - ・建設施工における現場作業支援の DX に関する WG
 - ・話題提供

（ 概 要 ） ○ 委員 、 ● 事務局

(1) ICT 施工に関する状況報告（資料―1）

- 令和5年度における直轄土木工事の ICT 施工の実施率は、昨年度同様87%だったことを説明
- ICT 施工の普及拡大に向けた取組について説明

(2) ICT 施工の技術基準類拡大に関する報告（資料―2）

- 令和6年度は、ICT 地盤改良工についてサンドコンパクションバイル工への適用拡大検討及びICT 舗装工（修繕工）の見直し検討を実施し、令和7年度からの運用開始を目指すことを説明。
- 令和5年度から実施している「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」のスリム化についての経過を報告し、令和7年度から運用開始することを説明。
- 民間等の要望も踏まえた基準の策定・改定については、i-Construction2.0 の取組を推進するため、提案内容の拡充を行い随時提案へと見直しを行うことを説明。

(3) ICT 施工及び遠隔施工におけるロードマップ案について（資料―3）

- i-Construction2.0 の取組について説明。
- 「ICT 施工に関するロードマップ案について」以下の内容を説明
 - ・ICT 施工 Stage II と取組を推進し、施工データを集約・活用するための共通データ環境の整備を実施していく。
 - ・今後 ICT 施工原則化を推進。令和7年度から ICT 土工、ICT 浚渫工（河川）について原則化を実施していく。
- 「遠隔施工に関するロードマップ案について」以下の内容を説明

- ・環境整備として、基準類の整備及び遠隔施工の適用範囲に関する指針の作成を実施していく。
- ・遠隔施工を実施するオペレータを育成するための人材育成に取り組んでいく。
- 「ICTプラットフォームの取組」について、今後は、準備会・協議会を立ち上げ議論していく予定であることを説明。
- 遠隔施工については、今後はICT導入協議会で取り扱っていくことでいいか。
- 遠隔施工については、今後はICT導入協議会で取り扱っていく予定です。
- 遠隔施工の環境整備については、重機だけでなく、監視カメラなどの設備も含んで検討するのか。
- 遠隔施工の環境整備については、実工事の事例を踏まえて進めていきたいと思っています。
- 要望になりますが、遠隔施工の環境整備については、機器のコストもかかってくるので、そのあたりを具体的に表していただけると分かり易い。
- i-Construction2.0には、品質に関する議論が少ないと感じている。例えば舗装などで施工の品質が向上すれば維持管理の負担を軽減させる効果を期待することができる。また、サンドコンパクションパイル工において、当初設定の砂量を地盤に無理やり注入したために周辺家屋の地盤に影響を及ぼした事例もあった。
ICT技術を用いると施工の品質を今まで以上に精緻に管理することができるようになってきた。それを含めた効率化を進めていっても良いのではないかと感じている。

(4) その他（資料―4）

- 建設施工における現場作業支援のDXに関するWGとして、令和6年7月1日に実施した第9回WG内容について説明
- 話題提供として以下の項目について報告
 - ・事務局による話題提供として「小規模施工の生産性向上に向けた取組」として、チルトローテータの効果について報告
 - ・建山委員（同行者：立命館大学 善本教授）による話題提供として、「スウェーデンの環境対策・電動化・チルト化の動向（R6.9現地調査結果速報）」についてご報告
 - ・国土地理院による話題提供として、「全国の標高成果の改定」について報告
 - ・（一社）日本建設機械施工協会による話題提供として、「ICTの積極的な利活用にむけた情報発信」「ICT施工検定」について報告